

牛川小学校の ESD 活動

<活動の概要>

- ・「自ら考え、他者と関わりながら、考えを深めていく『牛川っ子』」をテーマに掲げている。ESDを「地域を愛し、地域の環境を守っていけるような持続可能な開発のための教育」と捉え、実践を通して、「地域のよさに気づき、地域を愛し、地域を誇りに思う子ども」を育成することを目標とした。
- ・①環境に関わる教育（地域の自然に触れ、大切にしようとする）、②防災・福祉に関わる教育（体験活動や調べ学習を通して、身近に存在する課題に気づき考える）、③地域に関する教育（地域のひと・もの・ことにふれ見直し大切にしようとする）などの実践を行った。

・活動の実際

①③環境・地域に関わる教育（地域のひと・もの・ことに触れ見直し大切にしようとする）（3年）（4年）（6年）

3年生は、「すてき発見！うしかわ調査隊」をテーマに、牛川校区のすてきなところを調査した。校区探検を行い、牛川校区は「歴史があること」「自然が豊かであること」に気づいた。また、地域の方の思いに触れることで、地域への関心を高め、地域を愛する心を育んだ。

4年生は、「進め！朝倉川調査隊」をテーマに、朝倉川の水質検査や生き物調査を行い、生き物がたくさんいること、多くの方が遊びに来ていることに気づいた。また、昔の朝倉川はホテルが住めるくらいきれいだったことがわかった。現在、きれいな川にしようと、地域の方がごみ拾いを行っている。そのことを知り、「すてきがいっぱいの朝倉川を、自分たちの手で大切にしていきたい」と、校区への愛着を深めながら、環境問題への関心を高めた。

6年生は、「ぼくたちの誇り牛川 ～自分たちにできるまちづくり～」をテーマに、まちづくりに関わってきた。現在と過去の校区や小学校の様子が変化してきていることがわかり、それはまちづくりが理由だということに気づいた。まちづくりに関わっている方に話を聞いたり、公園に足を運んで調査したりし、「みんなが住みやすいまち」にするために必要なことを考えた。また、牛川に新しくできる公園の案を作って公園緑地課に提案したり、学校に置く車いすを買うためにアルミ缶を集めて地域の人にもお願いしたりと、地域の人々がしてくれているまちづくりにも感謝しながら、誇れる牛川に近づけるよう地域に発信する活動を行った。



3年 正太寺見学

②防災・福祉に関わる教育（体験活動や調べ学習を通して身近に存在する課題に気づく）（5年）

5年生は、「命を守る～巨大地震に備え、自分たちにできること～」をテーマに、防災危機管理課や自治会の方と共に、大きな地震がやってきたらどんなことが起こるのだろうと予想をしながら通学路の危険を調べ、ハザードマップを作成した。他にも、起震車体験や避難所間仕切り体験、防災士の方の話などの体験活動を通し、まずは自分の命を守ることの大切さ、そして



5年 防災マップ作り

何かを考え、社会参画の意識を高めた。